

第 3 7 回技術研究発表会 梗概 <Ⅱプロジェクト・技術報告>

D.プロジェクト・技術報告

【HP 掲載No. D02】

発表No.	D01
タイトル	新しいインフラとしての可動産を活用した持続可能なまちづくり
所属・名前	株式会社竹中工務店 大西 卓 株式会社竹中工務店 藤井 洋之 株式会社竹中工務店 小林 拓未 国立大学法人京都大学 小見山 陽介
キーワード	① 可動産 ② 持続可能性 ③ 循環社会
人口減少は大きな問題である。生産人口減少は税収など歳入の減少となり、高齢化・少子化対策の社会保障費等の歳出は増加しつづけ、財政は苦しくなり、老朽化したインフラの維持・保守には資金を回せなくなる懸念がある。また、人口減少に伴い新規の建設需要も減少していくと推定される。今でも好立地・好条件でないと新規の建設事業は成立し難くなっており、既存を活かしたリノベーション等が増えている。一方で、パンデミックの経験や技術の進展により、まちや建築の中において、モビリティ・ロボット・家具等の可動産が増えている。可動産の持つ可変性・拡張性・持続性は、社会の変化に柔軟に対応できる可能性があると考えられる。 これらの状況を鑑み、今後の人口減少・循環社会において、可動産が暮らしに楽しさと安心を提供できる新しいインフラとなり持続可能なまちづくりに貢献でできるか、構想と実証も元に考察したい。	